

第11回 FDフォーラム

学生が
本気で取り組む
「学び」の方法論
について考える

日時

平成21年

11月6日(金) 13:00~17:30

会場

名城大学 天白キャンパス

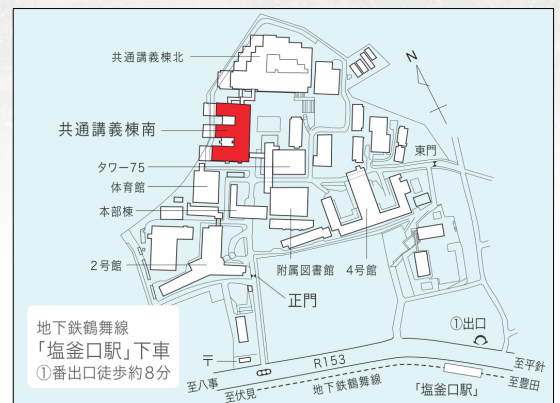
共通講義棟南1階 S101講義室

参加対象

大学教職員・高等学校教職員
大学院生・学部学生

プログラム

- 開会挨拶・趣旨説明 (13:00~13:10)
- 第1部 基調講演 (13:10~14:30)
「協同学習の魅力とその組織的取り組み」
創価大学教育・学習活動支援センター長
関田一彦 教授
- 第2部 名城大学の教育実践について語る会 (14:40~16:50)
 - 1) 講義室における協同学習(人間学部)
 - 2) フィールドワーク教育による汎用的技能修得(経済学部)
 - 3) ICT支援によるPBL学習(薬学部)
 - 4) 英語多読による自律学習の支援(大学教育開発センター)
- 第3部 平成21年度教育優秀職員表彰者講演 (17:00~17:20)
薬学部 武田直仁 准教授
- 講評・閉会挨拶 (17:20~17:30)



お問い合わせ 名城大学 大学教育開発センター
468-8502 名古屋市天白区塩釜口1-501
TEL: 052-838-2033
E-mail: edcenter@ccmails.meijo-u.ac.jp

プログラム

- 13:00～13:05 開会挨拶 FD委員長 池田輝政
13:05～13:10 趣旨説明 ワークショップチーム座長 成塚重弥
13:10～14:30 第1部 基調講演
「協同学習の魅力とその組織的取り組み」
創価大学教育・学習活動支援センター長
関田一彦 教授
- 14:30～14:40 (休憩 10分)
14:40～16:50 第2部 名城大学の教育実践について語る会
事例報告者(各20分)
1) 講義室における協同学習 (人間学部 伊藤康児教授)
2) フィールドワーク教育による汎用的技能修得 (経済学部 渡辺俊三教授)
3) ICT支援によるPBL学習 (薬学部 大津史子准教授)
4) 英語多読による自律学習の支援 (大学教育開発センター 只木徹准教授)
ディスカッション(50分)
コーディネーター: 大学・学校づくり研究科 中島英博
大学教育開発センター 神保啓子
- 17:00～17:20 第3部 平成21年度教育優秀職員表彰者講演
薬学部 武田直仁 准教授
17:20～17:25 講評 学長 下山 宏
17:25～17:30 閉会挨拶 FD委員長 池田輝政

講師略歴

関田 一彦 氏

創価大学文学部卒業後、ウィスコンシン大学ホワイトウォーター校の修士課程を経て、イリノイ大学で博士号を取得(Ph.D. in Education)。1992年に創価大学教育学部講師、その後同学部助教授を経て、2005年から同教授。2007年から創価大学教育・学習活動支援センター長を兼任。

教育心理・教育方法を専門とし、中でも、協同学習の学校現場への普及や研修プログラムの開発を積極的に進めている。日本協同教育学会副会長、国際協同学習学会理事。著書に、『大学授業を活性化する方法』(共著)、『学生参加型の大学授業:協同学習への実践ガイド』(監訳)など。



- 参加者は、学内・学外を問わず、どなたでもご参加いただけます。
- 天白キャンパスへのアクセスについては、名城大学交通アクセスのページをご参照下さい。
<http://www.meijo-u.ac.jp/guide/access.html>

主催: 名城大学FD委員会・大学教育開発センター
後援: FD・SDコンソーシアム名古屋

<http://www.meijo-u.ac.jp/edc/>
<http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/consort/>